

中東遠総合医療センター内科専門医研修プログラム (中東遠総合医療センター)

1 はじめに

当院は、平成 25 年 5 月に開院した新しい病院です。

内科は、総合内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科の 8 つの診療科を有しており、専門研修に必要な内科領域のすべてを経験することができます。プログラムでは、専攻医それぞれの志望に応じたコース設定が可能です。

地域の基幹病院として、救急を断らないことをモットーとして、症例には事欠かない状態にあります。比較的希少な症例にも恵まれ、専門研修の修了要件を満たすことも申し分ありません。

当院の専門研修では、各科の専門医取得を目指した研修はもちろんですが、救急部門の研修にも力を入れています。救命救急センターを有しているために、救急科医師（救急専門医含む）と連携し、週 1 回の救急当番や通常の日当直業務を通じて、救急専門医と同レベルの救急医療の習得も目指します。

当院は病院の方針として、初期臨床研修及び専門研修の充実を大変重要視しています。病院全体で、熱意を持って、研修医、専攻医を支え、育てる体制を整えています。



プログラム統括責任者 中東遠総合医療センター 副院長 若井 正一

2 目的

「高い専門性を有し、救急にも強い内科専門医を育てる。」

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設 中東遠総合医療センター

(2) 専門研修連携施設

連携施設 名古屋大学医学部附属病院、静岡済生会総合病院、浜松医療センター、市立島田市民病院、焼津市立総合病院

特別連携施設 菊川市立総合病院、御前崎市立総合病院、公立森町病院

4 専攻医受入数

6 名

採用実績 平成 30 年度 2 名、令和元年度 2 名、令和 2 年度 5 名（見込み）

5 研修期間

3 年間

6 研修計画（令和元年度の例）

当院の内科専門研修プログラムは、専攻医の志望に応じて、①サブスペシャリティ領域を重視するコースと、②各科のローテーションを重視するコースから選択することができます。

① サブスペシャリティ重点コース

①-1 各科を2か月ずつローテート（サブスペシャリティで呼吸器内科を志望する場合）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	循環器内科		消化器内科		神経内科		二重内科		腎臓内科		総合内科+ 感染症・内臓器内科	
2年目	連携施設・特別連携施設での研修 (不足している症例等を考慮し選択する。)						サブスペシャリティ（呼吸器内科での研修）					
3年目	サブスペシャリティ（呼吸器内科での研修）											

①-2 各科を2か月ずつローテート（サブスペシャリティで循環器内科を志望する場合）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	呼吸器内科		消化器内科		腎臓内科		腎臓内科		総合内科+ 感染症・内臓器内科			
2年目	連携施設・特別連携施設での研修 血液内科			連携施設・特別連携施設での研修 神経内科			サブスペシャリティ（循環器内科での研修）					
3年目	サブスペシャリティ（循環器内科での研修）											

② ローテーション重点コース（サブスペシャリティで消化器内科を志望する場合）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	循環器内科		呼吸器内科		腎臓内科		腎臓内科		総合内科+ 感染症・内臓器内科			
2年目	二重内科		神経内科		連携施設・特別連携施設での研修 ※専攻医の希望により自由な形で研修する							
3年目	サブスペシャリティ（消化器内科での研修）											

※ 令和2年度以降の応募者については、連携施設・特別連携施設での研修期間が1年間となり、専攻医2年目又は3年目に連携施設・特別連携施設での研修を行うこととなる見込みです。

7 問い合わせ先

〒436-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 管理課

電話 0537-28-9501 E-mail:kensyu@chutoen-hp.shizuoka.jp

HP: <http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>